世田谷区社会福祉事業団だより
パートナー せたがや PARTNER
2022／5
No.86 令和4年5月13日発行
発行／世田谷区社会福祉事業団
編集／経営企画課
〒154-0017
世田谷区世田谷 1-23-2
電話　03-5450-8223（代）
FAX　03-5450-8294

ご利用者紹介
元気のみなもと

芦花ホーム ショートステイご利用の 金子 かほる 様

▲職員と散歩を楽しまれる金子様

御年101歳の金子様は、平成22年からショートステイをご利用になられています。

金子様はこれまで家の庭のガーデニングや野菜の栽培、刺繍や編み物などを趣味にされてきました。ショートステイでは、テレビを見て皆様との会話を楽しまれています。

金子様は職員の呼びかけに対して前向きな言葉で答えてくださり、いつも笑顔の金子様に職員も毎日和やかな気持ちにさせていただいています。

▲撮影日は昼食でドライカレーを召し上がられました♪

元気の秘訣

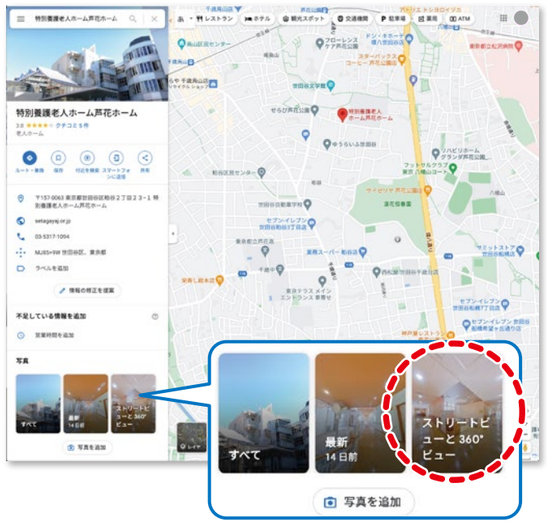
金子様の元気の秘訣は、「食事をきちんと摂ること」「規則正しい生活を送ること」です。また、「くよくよ悩まないこと」と精神的な面でも前向きに過ごすことも大切にされています。

週5日のデイサービスと共に、デイサービスのない日は歩行器で散歩もされ、外に出て刺激を受けることで健康を保たれています。

問 芦花ホーム
〒157-0063 世田谷区粕谷 2-23-1
☎ 03-5317-1094　FAX 03-5317-1093

ネットで施設見学気分を味わえます

このたび芦花ホーム、上北沢ホーム、寿満ホームかみきたざわでは、360°パノラマ写真の撮影を行い、Google社の提供するサービス「ストリートビュー」で閲覧できるようになりました。ホーム内の様子に興味をお持ちの方は、是非ご自身のパソコンやスマートフォンにてご覧ください！



閲覧方法

「Google マップ」から施設名で検索し、左下に表示される「ストリートビューと360° ビュー」の写真をクリックすると閲覧できます。
※スマートフォンの場合は下に写真が表示されます。

Uni-Voice

特集 令和4年度事業計画・予算のご報告

芦花ホーム ショートステイサービス

芦花ホームのショートステイでは、在宅の要介護者がその人らしく自立した生活を継続して営むことができるよう、短期間の入所で日常生活の支援や機能訓練サービス、レクリエーションを提供し、「また利用したい」と感じていただけるようなショートステイを目指しています。

問 芦花ホーム　☎ 03-5317-1094

事業団のホームページ　事業団の公式Twitter　事業団の公式Instagram　事業団の公式YouTube　Uni-Voice

特集 令和4年度事業計画・予算のご報告

令和４年度の事業団の事業計画及び予算をご紹介します。

事業団では、施設と在宅サービス及び多職種間の連携に向けた取り組みを継続し、医療依存度の高い方や認知症高齢者をはじめとする在宅生活の継続支援を推進していきます。また、事業運営等積み上げてきたノウハウの地域への還元や区民との連携等、地域における共生社会づくりに貢献します。

【重点取り組み（事業計画から一部抜粋）】

●特別養護老人ホーム事業
〈芦花ホーム・上北沢ホーム・寿満ホームかみきたざわ〉
- 感染症影響下における家族・地域連携の実施
- ICT 機器や介護ロボットを活用した質の高いケアの推進

●母子生活支援施設事業
〈パルメゾン上北沢〉※世田谷区からの受託事業
- 施設の機能強化に向けての取り組み
- 新しい生活様式に合わせた支援の確立

●訪問介護事業〈ホームヘルパー派遣〉
- 利用者の生活を中心とした専門性の高いサービスの提供
- ホームヘルパー人材の確保・定着

●通所介護事業〈デイ・ホーム〉
- 在宅生活の継続を実現するプログラム、支援メニューの充実
- 感染症や災害に適切に対応できる体制づくり

●訪問看護事業〈訪問看護ステーション〉
- 質の高い訪問看護・リハビリテーションの提供
- 地域の拠点ステーションとしての役割強化

●地域包括支援センター事業
〈あんしんすこやかセンター〉
- 地域で支え合うネットワークづくりや地域包括ケアシステムの推進
- 総合相談窓口として多様な相談に対応できる人材の育成

●居宅介護支援事業〈介護保険サービス〉
- 質の高いケアマネジメントによる在宅生活の継続支援
- 地域包括ケアシステムを推進するケアマネジメントの展開

●世田谷区福祉人材育成・研修センター事業 ※世田谷区からの受託事業
- 福祉の理解促進
- 福祉サービスの担い手の発掘・就労支援
- 福祉向上の先駆的な取り組みなどの調査・研究

令和4年度当初予算（総括表）

	予算科目	予算額（円）
事業活動による収支	事業活動収入計	3,868,354,000
	事業活動支出計	3,834,291,000
	事業活動資金収支差額	34,063,000
施設整備等による収支	施設整備等収入計	0
	施設整備等支出計	2,365,000
	施設整備等資金収支差額	▲2,365,000
その他の活動による収支	その他の活動収入計	152,682,000
	その他の活動支出計	100,000,000
	その他の活動資金収支差額	52,682,000
当期資金収支差額合計		84,380,000

令和4年度予算について

令和４年度は当期資金収支差額合計 84,380 千円余りのプラスの予算です。

収入面では「新しい生活様式」が定着する中、介護現場でも感染防止を徹底し、地域福祉のニーズに応えるべく、各事業においてコロナ禍以前と同様に質の高いサービスを提供することで見込まれる収入を計上しました。

一方、支出面では、効率的な事業運営を引き続き実施しながら、必要な経費をかけて、質の高いサービスを行うために必要な支出を予算に組みました。

職員一丸となり、安定した事業運営を目指してまいります。

Uni-Voice

令和３年度の皆さまからのご寄附の活用について

世田谷区社会福祉事業団では、
皆さまからの善意の寄附金を
施設運営のため有効に
活用させていただいております。

▲老朽化したトイレを新調しました。

夏祭り宝くじの景品のお米
ご利用者に喜んでいただきました♪▶

令和３年度は寄附金を、特別養護老人ホームでは、防犯カメラや自動ドア電気錠増設などのセキュリティ関係の強化、トイレ修理に、デイ・ホームでは、「夏祭り宝くじの賞品」「運動会参加賞のマスク」などの行事の景品や「掃除用送風機」「家具の転倒防止棒」「郵便受け」などを購入し、事業所で活用させていただきました。

多数の方から善意のご寄附をいただき、心から御礼申し上げます。

ご寄附

多くの皆様より、善意の寄附金、寄附物品をいただきました。心から御礼申し上げます。

令和３年12月～令和４年3月にご寄附いただいた方

新井 廣昭 様、村田 良幸 様、庄司 信幸 様 他

（※お名前はご了承いただいた方のみ掲載しています。）

当法人への寄附は、所得税等の税法上の優遇措置の適用がございます。

ご寄附のお申し出は下記の問い合わせ先、または各事業所までお願いいたします。

NEW ホームページから寄附の申し込みができるようになりました！

寄附のご案内

寄附のお申し込みは、下記の問い合わせ先
またはホームページのフォームからお願いします。

TEL **03-5450-8595**
受付時間：午前８時30分～午後５時15分
定休日：土・日・祝日

FAX **03-5450-8294**
ご連絡先・お問い合わせ内容を明記の上、ファックスをお送りください。

申込フォーム
フォーム送信後は担当者から寄付のお申し込みについてご案内させていただきます。

Uni-Voice